

# ブルース

**起源** ブルースは、アメリカの奴隷に端を発するアメリカ音楽の一形式であり、アフリカ起源の音楽にアメリカで発見された音楽が混ぜ合わさったものである。それは、魂のこもった、憂鬱な感じの音楽で、絶望や悲しみを表現する。音楽の一分野として発展し、ジャズの元となった。

**特徴** アイスダンスでは、ゆっくりで、リズムカルで、だらけた感じで、ゆるやかに起伏する動作を特徴とする。音楽は、ブルー・ノートや短調を使うことで憂鬱な感じの音となる。

**拍子記号** 1小節あたり4拍の4/4拍子  
ほとんどの音楽は16小節ではなく12小節の構成である。すなわち12小節のフレーズそれぞれが1つのメロディをなしており、このメロディは繰り返されないというものである。(現代のブルース音楽には8小節や16小節のフレーズで作られているものもある。)

**テンポ** ゆっくりである。  
パターンダンス:1分間に22小節(88拍/分)  
ボールルームダンス:1920年代には存在したが、現在は存在しない。

**リズムパターン**  
フォックストロットに似ているステップで、均一でゆっくりとしたパターン。4ビートのグループで様々な方法が組み合わさる。  
ダンスをだらけた感じにするために、ダンサーはよく最後の瞬間まで次のステップの滑走を遅らせる。

ビートカウント 1 2 3 4

**一般的な音楽の表記法**  
音楽のカウントとビートのカウントは同じ。(四分音符)

	C	♪	♪	♪	♪		♪	♪	♪	♪	
音楽のカウント		1	2	3	4		1	2	3	4	
スケーティング・カウント		1	2	3	4		1	2	3	4	

**一般的な楽器**  
リード(クラリネット、サクソフォン)、ブラス(トロンボーン、トランペット)、基本的なリズム楽器(ベース、ギター、ピアノ、ドラム)

**CDの音楽** “I Almost Lost My Mind”